



公設公営化後も

子どもが思いっきり遊べる

学童保育を存続させたい



船橋市に学童保育ができて30年。以来今日まで各地域の学童保育は、共働き家庭の小学校低学年の子にとって、放課後の生活の場として息づいてきました。そして、現在、船橋市の学童保育は36カ所に増え、1,000名余りの子どもたちが通い、安全で豊かな生活をおくっています。そのため親は安心して働くことができます。

私たちは、学童保育での子どもを知っていただき、2000年4月からの学童保育の公営化後も、子どもが安心して思い切り遊べる生活の場として、学童保育が存続して欲しいと思います。同時に、劣悪な学童保育施設の現状や保育料などの条件から、学童保育への入所をあきらめている方が、現在の利用者の数倍に昇ると推測されており、公設公営にあたっては、学童保育を必要とするすべての子どもが入所できる学童保育になることを願っています。